



三の丸だより



発行所
自衛隊茨城地方協力本部
募集課広報班
水戸市三の丸3丁目11番9
TEL (029) 231-3315

新年のご挨拶

自衛隊茨城地方協力本部
本部長 1等陸佐 野口 紀幸



明けましておめでとうございます。三の丸だよりの読者の皆様に、おかげましては、お健やかに新年を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げますとともに、これまで賜りましたご厚情・ご支援に対しまして、厚く御礼申し上げます。

昨年（子年）は何といつても「新型コロナウイルス」（見えない敵）との闘いの1年でした。一昨年8月に自衛隊茨城地方協力本部長として着任し、令和2年度は当初から地本業務に携われると思っていた矢先の4月、緊急事態宣言からのスタートとなりました。今年1年（丑年）はどのような年になるのでしょうか。是非良い年にしたいものです。

さて、昨年も我が国周辺を取り巻く安全保障環境は厳しい状態で推移しました。国内では内閣総理大臣が交代し、米国大統領の交代も決まりました。自然災害による被害はここ数年では局限したもの、新型コロナウイルス感染症対応において、自衛隊に対する期待が更に増大し、迅速・的確な対応が求められました。このような中、我々地方協力本部は、募集・援護等活動において、非接触下での対応を余儀なくされました。また、地元自治体、関係企業等の力強いご支援・ご協力により、着々と任務を遂行することができました。

今年は、新たな防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画の中間の年でもあります。引き続き、宇宙・サイバー・電磁波の新たな領域での活動も視野に入れた「多次元統合防衛力」を積極的に構築する年となります。従いまして、これまで以上に日本の防衛に必須であると認識しています。また、これまで日本の防衛の一翼を担ってきた退職予定自衛官が安心して暮らせることができるよう、雇用企業の皆様や地元自治体等の皆

様のご支援・ご協力を賜りながら、各種業務等に取り組んで参ります。

少子・高学歴化、新型コロナウイルスの終息が見えない厳しい募集・援護環境の中、時代に必要な人材を確保すべく、茨城地方協力本部が「柱」となり、また地球上に蔓延する「鬼」（新型コロナウイルス）の感染症拡大防止に尽力しつつ、「全集中」して与えられた任務を完遂できるよう邁進する所存です。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、これまで以上に自衛官の募集、退職予定隊員の就職援護等に関しまして、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



日立出張所
志願票は密に！



茨城地方協力本部



水戸募集案内所
今年も誠実・献身 そして挑戦！



土浦地域事務所
心を燃やせ



龍ヶ崎地域事務所
全集中！



筑西地域事務所
一期一会



百里分駐所
明るく楽しく



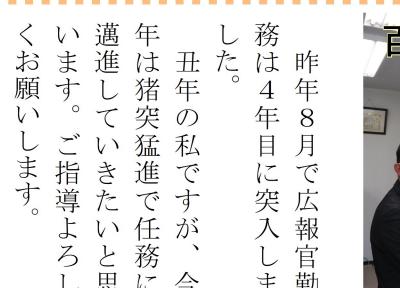
県北援護センター
一丸



県南援護センター
何事もひたむきに臨む



県西援護センター
この時期だからこそ 寄り添う援護！



百里分駐所
昨年8月で広報官勤務は4年目に突入しました。
丑年の私ですが、今年は猪突猛進で任務に邁進していきたいと思います。ご指導よろしくお願いします。



5回目の年男、還暦という節目の年。
生まれた干支にもどり、「赤ちゃんにかかる」と、表現されることがありますが、エネルギーично、人生終盤を生き生きと頑張ります。



残りの自衛隊生活《健康第一》で頑張りたいと思いま『まだ』現職自衛官だ

年男の皆さま、おめでとうございます！ステキな1年になりますように★



あつという間に5回目の年男を迎えます。
『まだ』まだ現職自衛官だ



年男を迎えた。健康で仕事ができていることを感謝しつこれからも走り続けていきたいと思っています。

年男の抱負



一年を振り返って



総務課

2月 方面総監県知事表敬・初度視察

東部方面総監 小野塚貴之陸将による、大井川茨城県知事表敬と、茨城地方協力本部に対する初度視察を受けました。総監より、「募集・援護・予備自衛官等に係る目標達成」と「部隊の即応性維持・向上のため地域における部隊行動の基盤としての役割」を果たす様、訓示を受けました。



5月 だるまの目入れ式

コロナ過の状況を鑑み、最小限の参加人数により、各課および各所等の連携を強化し、地域と共に一致団結し、情熱と創造を持って各種施策に積極的に取り組み、目標を達成するよう祈願しました。



募集課

2月 体験搭乗

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地において、体験搭乗が行われました。



3月 Twitter開始！

茨城地本のTwitterを開設しました。イベント情報や募集情報の発信、日常の出来事などつぶやいています。皆様のフォローお待ちしています！



6月 募集担当者集合訓練

茨城地本の広報官を集め、技術の共有と向上を目指して集合訓練を行いました。



6月 自衛隊茨城地方協力本部長感謝状贈呈

令和元年度に茨城地方協力本部に対し、部務運営および防衛基盤の育成に貢献された個人および団体の方々に対する感謝状をコロナ過の状況を鑑み、お伺いし贈呈いたしました。



9～11月 令和元年度版防衛白書説明

9月～11月の間、県をはじめ各市町村に対し、防衛省の各種施策について理解を深めてもらうと共に更なる信頼関係の強化を図ることを目的とし、防衛白書説明を行いました。



通年 コロナによる各種対応

コロナ禍の中、3密を避けるため、交代制勤務、事務所におけるオーバーレイの設置、スカイプを利用したテレビ会議の導入といった各種対応を行うと共に、茨城県が推奨する「いばらきアマビエちゃん事業」への登録を行いました。



8月 県知事へ防衛大学校学生が帰郷訪問

茨城県出身の防衛大学校学生7名が県知事を訪問し、帰郷報告を実施しました。



8～10月 各種説明会

陸上自衛隊勝田駐屯地及び航空自衛隊百里基地において募集対象者や保護者に対し説明会を行いました。



11月 下総航空基地見学

千葉県にある海上自衛隊下総航空基地を見学しました。



援護課・予備自室

2月 予備自衛官1日間訓練

勝田駐屯地において、令和2年最初の予備自衛官1日間訓練を実施し、新規採用の予備自衛官15名が参加しました。

3月 予備自衛官等協力事業所表示制度認定証交付

予備自衛官等協力事業所表示制度に係る大臣認定証を1社、地本長認定証を4社に交付し、更なる関係の構築に努めました。



4月 新型コロナウイルス感染拡大に伴う業務

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、出勤制限や行事の中止・延期を余儀なくされました。

この間、Web会議用のカメラの調達や、フェイスシールド・オリジナルマスク作成等、感染予防策を講じました。



6~7月 雇用協役員企業訪問

コロナ禍に伴う出勤制限の解除に伴い、雇用協役員企業を訪問しました。

今年度の雇用協総会については、書面決議で実施することで意見が一致しました。



防災監雇用自治体訪問

コロナ禍に伴う出勤制限の解除に伴い、防災監採用自治体を訪問しました。

防災監の身上の確認及び自衛官の定年延長に伴うサイクル援護について意見を交換しました。



陸士就職補導教育

新型コロナウイルス感染拡大防止対策（3密の防止）を講じ、勝田・霞ヶ浦・古河駐屯地において、陸士就職補導教育を実施しました。

本教育は、任期満了退職を予定する隊員が再就職に必要な知識を得ることを目的に実施しているもので、教育に参加した隊員らは、就職準備に資する様々な教育を受けました。



7月 予備自衛官5日間訓練

勝田駐屯地において、本年度最初の予備自衛官5日間訓練を支援し、97名が出頭しました。



一般公募予備自衛官特技取得訓練

朝霞駐屯地において、即応予備自衛官への任用を志願する一般公募予備自衛官の特技取得訓練が実施され、茨城地本管理の一般公募予備自衛官1名が参加しました。



7~8月 夏期遺族宅訪問

茨城県内26遺族に対し、全国部隊からの寄付金を供花料としてお届けし、弔意を表しました。

新型コロナウイルス感染症防止のため玄関口での面会となりましたが、ご遺族の身上把握に努め、全員がご健康であることを確認することが出来ました。



8月 本部長感謝状贈呈（就職援護功労）

退職自衛官の雇用企業に対し、本部長感謝状を贈呈いたしました。

コロナ禍に伴い贈呈式は中止となつたため、直接雇用企業主に対し感謝状を手交する形で感謝の意を示しました。



予備自衛官等雇用企業訪問

即応予備自衛官を希望している予備自衛官雇用企業1社に対し企業訪問し、即応予備自衛官制度等への理解を得るとともに、即応予備自衛官を雇用した際ににおける不安の払拭を図りました。



9月 茨城県任期制隊員合同企業説明会

土浦市内において、（一財）自衛隊援護協会の主催の茨城県任期制隊員合同企業説明会を担任しました。

説明会に参加した任期満了退職予定隊員らは、積極的に企業ブースを訪問し、再就職を希望する企業から説明を受けていました。また、予備自衛官等ブースを開設し、制度の普及に努めました。



10月 自衛隊殉職隊員遺族会茨城支部総会支援

ひたちなか市内において実施された自衛隊殉職隊員遺族会茨城支部総会を支援しました。

令和2年度の事業成果報告とコロナ禍における事業実施の可能性について協議するとともに、懇談を交えながら和やかな雰囲気で総会を終了することができました。



幹部涉外広報課程（小平学校）現地研修支援

茨城地本本部（水戸市）及び県南地区援護センター（霞ヶ浦駐屯地）において、小平学校が実施する現地研修を支援しました。

研修では、茨城地本における援護業務の現状・施策を説明するとともに、現場で活躍する援護担当官との活発な意見交換が行われました。



即応予備自衛官志願者説明会

霞ヶ浦駐屯地において即応予備自衛官志願者説明会を実施し、即応予備自衛官志願者4名に対し、制度説明、身体検査及び身上（心情）把握を行い即応予備自衛官の確保を図りました。



11月 定年退職予定者就職援護教育

霞ヶ浦駐屯地において、第1回茨城県定年退職予定者就職援護教育を実施しました。

教育では、雇用情勢及び企業の実態等のほか、再就職までの流れ・健康管理の重要性等、再就職に必要な知識・心構えについて説明し、早期の再就職準備を図りました。



援護相談コーナー開設

古河駐屯地において実施された予備自衛官5日間招集訓練において、援護相談コーナーを設置しました。

相談コーナーを訪れた予備自衛官からは、コロナ禍による年収減少に伴う転職相談などがあったほか、再就職を予定する任期制隊員も訪れ、進路選択や再就職準備等について相談を受けました。

